

地域づくり活動NPO事業助成事業 実績報告

事業区分 (1 102)

| | | | | |
|-----|---------------------------|------|--------------|---------------|
| 団体名 | (特非)ビレッジ | 代表者名 | (職名) 代表理事 | (氏名) 出路賢之介 |
| 事業名 | 障がいのある子どもと『よければいっしょに家族写真』 | | | |

< 事業実施実績 >

| 年月日 <small>定例は「月1回」 「毎○曜日」等で 記入</small> | 場所 | 参加者 一般 (スタッフ) | 活動内容 (勉強会や定例会、講演会、イベントなどを幅広く記入) 講演会、イベント等はタイトル・講師・会場等を併記 |
|--|-------------|-------------------------|--|
| 12月20日 | 西宮市総合福祉センター | 36人 (5人) | 撮影イベント「障がいのある子どもと『よければいっしょに家族写真』」を西宮市総合福祉センターで開催して9組の家族が参加。カメラマンは水本光氏。 |
| 1月17日 | 西宮市総合福祉センター | 28人 (5人) | 撮影イベント「障がいのある子どもと『よければいっしょに家族写真』」を西宮市総合福祉センターで開催して9組の家族が参加。カメラマンは水本光氏。 |
| 1月24日 | はんしん自立の家 | 43人 (5人) | 撮影イベント『よければいっしょに家族写真』を「はんしん自立の家」で開催して6組20人の家族、23人の施設居住者が参加。カメラマンは水本光氏。 |
| 2月21日 | 西宮市総合福祉センター | 28人 (5人) | 撮影イベント「障がいのある子どもと『よければいっしょに家族写真』」を西宮市総合福祉センターで開催して2組の家族が参加。カメラマンは水本光氏。 |

< 効果と成果 >

障がい児家庭において心理的・物理的ハードルの高さから諦められがちだった「家族写真の撮影」という潜在的なニーズは、全4回の継続的なイベントへの32組・92名の家族の参加（完売）を通じて顕在化しました。また「普段は撮れない貴重な記念になった」という喜びの声を多数いただいたことは、当事者家族のQOL向上に直結する大きな成果です。また、地域活動としての幅を広げ社会課題の解決につなげるという点については宝塚市の福祉施設「はんしん自立の家」との連携により、施設入居者と一般参加家族が同じ空間を共有する場を創出。これにより、福祉施設が地域に開かれた「交流の拠点」であることを示し、障がいのある子どもたちの将来像に理解を深める一助となりました。さらに、1年前の参加者が再訪し、子どもの成長を私たちもともに喜び合う信頼関係が築かれた点も大きな成果です。障がい児の兄弟姉妹の話し相手になるなどのエンパワメントにも繋がり、単なる撮影会を超えたつながりを作る機会としての役割も果たせる可能性を感じられましたから、思い出作りに留まらない、地域とのかかわりを生み出すモデルが提示できた考えます。

< 今後の展望 >

福祉センター等の慣れた場所での開催や、1組限定のゆとりある枠設定が、家族の安心感と満足度に直結することが確認されました。今後は、特性に寄り添うカメラマンの知見を活かしつつ、事前の見通しを立てるための視覚支援ツール（撮影の流れ図等）を導入し、障がい児・者である本人の不安をさらに軽減する体制を整えます。また、障がい児・者本人だけでなく「きょうだい児同士の繋がり」や「父親のコミュニティ参加」を求める声が強くなりました。撮影会を単なるイベントに留めず、家族交流や悩み共有の場へと多層化させることが次なる課題です。

< 収支決算書 >

(収入)

| 項 目 | 金 額 (円) |
|----------------------|---------|
| 地域づくり活動NPO事業助成金 | 251,000 |
| 「よければいっしょに家族写真」事業収入等 | 29,345 |
| 合 計 | 280,345 |

(支出)

| 区分 | 項 目 | 金 額 (円) | 左のうち 助成対象金額 (円) |
|------------------|--------------|---------|--------------------|
| 直 接 経 費 | 謝金 | 180,000 | 172,000 |
| | 旅費交通費 | 14,360 | 13,015 |
| | 小 計 | 194,360 | 185,015 |
| | 間接経費 (一般管理費) | 85,985 | 65,985 |
| | 合 計 | 280,345 | 251,000 |